# 平成28年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりました。団塊世代の方が65歳を超え、この世代の能力を踏まえた就業開拓が急務の中、魅力ある健全で活発なセンターを目指し事業運営をしてきました。また、就業開拓員による派遣先事業所を中心に開拓活動を推進すると共に、就業機会の公平化を進めるため、ローテーション就業やワークシェアリング（仕事の分かち合い）を会員が一致協力して取り組み、就業の適正化・公平化を図り、当初の目標達成に努力してまいりました。

## 1　事業の普及啓発

(1)　センターの機関紙「シルバーだより」を8月と1月の年2回市広報紙に折込み市内全戸に配布し、センターの普及啓発に努めました。

(2)　市広報「北名古屋」、地域情報誌「北名古屋市民タイムズ」に、会員募集、総会及び北名古屋市シルバー人材センター設立30周年記念式典などの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。

(3)　9月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。

(4)　10月の事業普及啓発促進月間においては、関係団体、事業所等を訪問し、事業内容の啓発に努めました。

(5)　11月3日の「商工祭」及び11月23日の「ふれあいフェスタ2016」等において、女性部会の手作り作品、木工部会の木工製品及びふれあい農園部会の農作物を販売すると共にシルバーの相談窓口を開設し、シルバーへの入会、仕事の受付等の普及啓発に努めました。

(6)　センターのホームページを随時更新し、シルバーの啓発に努めました。

(7)　8月、9月、12月、3月の年4回、高齢者生活支援事業のＰＲチラシを市広報と共に配布し、就業開拓とセンター事業の啓発に努めました。

(8)　シルバーＰＲ旗の掲出を理事、地域班役員に委託し、会員募集と就業開拓に努めました。

## 2　組織の状況

(1)　平成28年度は、入会者65名、退会者77名（うち物故者6名）で、年度末会員数は702名となり、昨年度より12名減（前年度比1.9%減）とな

りました。入会者の伸び悩みは、再雇用等で就業年限の延長が主な理由と考えられます。また、病気・高齢の理由で退会された会員は49.4%を占めました。

(2) 入会説明会を、年間11回（毎月第3水曜日）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明すると共に理事等2名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。

(3) 社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、笑楽クラブなどの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

(1) 事業の契約金額は、3億3,262万円で、前年度に比べ1,604万円増（5.1%増）、また、配分金の総額では、2億6,759万円で、前年度より1,140万円増（4.4%増）となりました。

年間就業延人員は、独自事業のふれあい農園、高齢者生活支援・喫茶あけぼの事業及び剪定枝等のパッカー車運行により、9万962名で、前年度より2,563名増（2.9%増）となりました。

| 区分 / 年度 | 契約金額（万円） | 配分金収入（万円） | | | | 年間就業延人員(人) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 事業所 | 公共 | 一般家庭 | 独自事業 | |
| 28年度 | 33,262 | 8,272 | 11,411 | 6,461 | 615 | 90,962 |
| 27年度 | 31,658 | 7,999 | 10,577 | 6,459 | 584 | 88,399 |
| 増　減 | 1,604 | 273 | 834 | 2 | 31 | 2,563 |
| 前年増減比 | 5.1% | 3.4% | 7.9% | 0% | 5.3% | 2.9% |

(2) 会員就業基準に基づき、継続就業期間満了者（今年度末で5年間以上）の就業交代を実施すると共に、交代後の会員にも新たな就業等の相談を行い、より多くの会員が就業できるよう努力しました。

(3) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労働者派遣事業の契約金額は、1,437万円で、前年度に比べ179万円減（11.1%減）、また、会員賃金の総額では、1,130万円で、前年度に比べ144万円減（11.3%減）となりました。

年間労働者延人員は、336名で、前年度より42名減（11.1%減）となりました。

(4) 独自事業の木工部会は、手作りの木工製品を市主催のイベント等と「食のアウトレット北名古屋」で販売すると共に、注文による作製販売も行いま

した。

また、女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作成し、木工部会と共に、イベント等に参加して展示販売を行いました。

ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売すると共にイベントに参加して地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

2年目の高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うと共に喫茶あけぼのを営業し、憩いの場の提供をいたしました。

(5) 生涯現役社会の担い手として高齢者の健康で生きがいのある生活を実現すると共に地域社会の期待に応えるため、センターの事業方針を定める第2次5か年事業計画を策定しました。

## 4 安全・健康管理

(1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出すると共に、7月・8月・10月・1月には就業現場の安全パトロールを県シ連と共に実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。

(2) 安全就業と事故防止を図るため、6月、会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表すると共に、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。

(3) 11月に草刈機の操作方法及び危険防止の実技等講習会（8名参加）を井瀬木地区において開催しました。

(4) 事故の発生状況については、傷害事故2件、損害賠償事故4件で、前年度と比べ傷害事故は4件、損害賠償事故は2件減少しました。

## 5 30周年記念式典

(1) 10月8日に「北名古屋市シルバー人材センター設立30周年記念式典」を開催し、記念講演、表彰伝達後、アトラクションとして浪曲や吹奏楽団の演奏会並びに各クラブの作品展示等を行い、会員相互の親睦、交流を図りました（出席会員487名）。

(2) センターの設立30周年を迎えるにあたり記念誌を編集し、2月に全会員に配布しました。

## 6 福利厚生等

3月には、各地域班長が招集する地域班会議がそれぞれ開催され、理事、事務局も参加する中、意見交換、情報交換が行われ、会員相互の交流が図ら

れました。各地区の理事及び事務局からは、

①総会・シルバーの日への出席依頼

②児童遊園の除草作業

③地域奉仕活動への参加

④事業状況

⑤第２次５か年事業計画の策定

⑤安全就業の徹底

⑥会員互助会設立について

説明をし、シルバー事業のご理解とご協力をお願いしました。

7　社会奉仕活動

5 月の市ごみゼロ運動、10 月の合瀬川清掃活動に参加しました。また、2 月に師勝西小学校で開催された「昔の話を聞く会」に会員を講師として派遣しました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。